

# しろいし 市議会だより

2020  
**春**  
第197号

【表紙写真】

令和2年1月29日、市役所を会場に白石市議会一般会議が開催され、スパッシュランド「友の会」と議論を深めました。



- 2~3P 2月定例会の概要・審議した議案
- 4~6P 予算審査特別委員会
- 6P 討論
- 7P 議案の賛否一覧
- 7~15P 市政に対する一般質問(15名)
- 15P 白石市議会一般会議・意見交換会
- 16P 人事・議会の活動状況・編集後記



市長の提案理由説明

使用者がより気軽に学習や軽スポーツを行えるよう、生涯学習の支援体制を整備するため、現在「ステージ」、「ステ

◎白石市公民館条例の一部を改正する条例

条 例 等

審議した議案の主なものは次のとおりです。

「一」を除外部分及び「全室」の3区分となっている中央公民館のホール利用区分のうち、「ステージを除外部分」を2分割し、使用料も半額と定めることから、条例の一部を改正するものです。



2月定例会  
令和2年度一般会計当初予算  
141億511万1千円を可決

令和2年2月定例会は、2月19日から3月6日までの17日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、専決2件、条例等12件、予算12件の計28件でした。定例会初日、市長の施政方針を受け、その後、すべての議案の提案理由の説明がなされ、このうち第1号議案から第5号議案までは、採決の結果、全会一致で同意・承認・原案のとおり可決し、同日、議会運営委員会委員長より、議員提出議案である議提第1号の提案理由の説明がなされました。

2日目、第6号議案から第28号議案及び議提第1号までの質疑が行われ、予算の12議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。その他の議案及び議提第1号は、2日目に表決まで行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問は、3月4日と5日の2日間で、15名の議員が質問を行いました。

定例会最終日(3月6日)の本会議において、委員長報告を行なった後、第23号議案については、反対及び賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案2件(第29号議案及び第30号議案)が追加提案され、質疑を経て、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

議案番号	件名	審議結果
第1号	市 長 提 案 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意
第3号	専決処分承認を定めることについて(専決第1号) (令和元年度白石市一般会計補正予算)	承 認
第4号	専決処分の承認を定めることについて(専決第2号) (令和元年度白石市一般会計補正予算)	承 認
第5号	訴えの提起について	原案可決
第6号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
第7号	白石市監査委員条例及び白石市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第8号	白石市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	原案可決
第9号	白石市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第10号	白石市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第11号	白石市営住宅管理条例の一部を改正する条例	原案可決
第12号	白石市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第13号	白石市公民館条例の一部を改正する条例	原案可決
第14号	白石市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第15号	白石市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決
第16号	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決
第17号	令和元年度白石市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
第18号	令和元年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決

2月定例会で審議した議案

◎白石市放課後児童クラブ  
条例の一部を改正する条例

放課後児童クラブについて、夏期休業など長期休業日のみの利用を希望する児童に対して規定を設けるとともに、その利用料金を定めることから、条例の一部を改正するものです。

予 算

◎令和元年度白石市一般会計  
補正予算(第7号)

これまでの歳入歳出予算からそれぞれ487万6千円増額し、予算総額を165億7千816万4千円とするものです。

◎令和2年度白石市一般会計  
予算

予算総額は、14億511万1千円で、前年度と比較すると0.2%の減となります。

主な内容は次のとおりです。

◎第六次白石市総合計画・第

三次白石市国土利用計画策  
定事業 1千20万9千円

○オリンピック推進事業  
1千248万5千円

○(仮称)白石市子育て世代  
包括支援センター整備事業  
401万円

○働き世代から始める健康づ  
くり推進事業 429万4千円

○有害鳥獣対策事業  
3千620万4千円

○スマートインターチェンジ  
整備事業 1千460万4千円

○白石学びの環境づくり事業  
1千222万6千円

○外国語・国際理解教育推進  
事業 3千422万7千円

本会議質疑より

◎白石市公民館条例の一部を  
改正する条例

〔質疑〕中央公民館のホールを  
2分割して貸し出す場合、区  
切り方はどのようになるのか  
伺う。

〔答弁〕ステージを除く部分の  
ホールについて、入り口側半分、  
ステージ側半分といった形で半

分ずつ利用いただくこととし  
ている。

◎白石市放課後児童クラブ  
条例の一部を改正する条例

〔質疑〕今回の利用料金を改正  
するに至った詳しい理由を伺  
う。

〔答弁〕放課後児童クラブにお  
ける長期休業日のみの利用に  
ついては、これまで特例とし  
て実施していたが、利用料につ  
いては定めがなかったことから、  
月の途中で利用する場合を準  
用し、利用日数に150円を乗じた  
額をいただいていた。

長期休業日における利用料  
は、事業を実施するために必要  
な経費の一部と考えており、通  
常利用者との均衡を図ること  
から、区分に応じて3千円をい  
ただくよう改正するものであ  
る。

◎令和2年度白石市一般会計  
予算

〔質疑〕令和2年度当初予算に  
ついて、本市の財政状況が大変  
厳しい中、どのような編成を行  
なったのか伺う。

第19号	令和元年度白石市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
第20号	令和元年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
第21号	令和元年度白石市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
第22号	令和元年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第23号	令和2年度白石市一般会計予算	原案可決
第24号	令和2年度白石市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第25号	令和2年度白石市介護保険特別会計予算	原案可決
第26号	令和2年度白石市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第27号	令和2年度白石市水道事業会計予算	原案可決
第28号	令和2年度白石市下水道事業会計予算	原案可決
第29号	令和元年度白石市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
第30号	令和2年度白石市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第1号	白石市議会基本条例の一部を改正する条例	原案可決

〔答弁〕令和2年度の当初予算  
た未来への投資という2つの両  
については、会計年度任用職員  
輪が大変重要と考えている。

制度導入に伴う人件費の増加  
や幼児教育・保育の無償化等に  
伴う扶助費の増加など大変厳  
しい状況であったが、財政状況  
を踏まえ、その事業が本当に必  
要か、目的や成果も含めてさま  
ざまな角度から検討し編成し  
た。

厳しい財政状況が続いてい  
るが、強固な財政基盤の構築、  
そして、20年、30年後を見据え

営に全力で取り組んでいく。

# 予算審査特別委員会

第17号議案・令和元年度白石市一般会計補正予算(第7号)から第28号議案・令和2年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月25日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・四竈英夫、副委員長・平間知二)は、2月26日及び27日の2日間にわたり審査を行いました。その結果、第23号議案・令和2年度白石市一般会計予算については、反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

## ◎令和元年度白石市一般会計補正予算(第7号)

### 土木費

るものである。

総合防災訓練や防災・減災に関する研修会等での活用を通して、学校や地域消防団、自治防炎組織とともに、児童生徒や地域住民の防災意識の向上を図りたいと考えている。

〔質疑〕白石第一小学校と白石第二小学校へ新たに整備するマンホールトイレについて、詳細を伺う。

〔答弁〕このマンホールトイレは国の補正予算で整備するもので、頻発する大規模災害に備えた防災対策のため、中心市街地の指定避難所である小学校2カ所を強化し、市域の防災力向上を図

### 商工費

〔質疑〕壽丸屋敷の瓦屋根修繕工事について、具体的な内容を伺う。

〔答弁〕今回の工事は、壽丸屋敷店蔵西側の瓦屋根修繕工事であり、風や雨などにより落下したことから、修繕するものである。

古い瓦を撤去し、再利用できるものは修繕用として保管するとともに、瓦の下の土台も状況を見て悪いところは直して行く。

瓦は既製品を利用する予定であるが、文様入りの瓦については再現した形で製作し、修繕することとしている。

## ◎令和2年度白石市一般会計予算

### 総務費

〔質疑〕市民バス運行管理事業の中心市街地循環便について、試験運行が継続となった経緯を伺う。

〔答弁〕昨年11月に無料のお試し券をつけた新聞折り込みチラシを配布させていただき、それ以降、利用者の人数が増えたことから、令和2年度中も試験運行を実施しようとするものである。

中心市街地の循環ということで、買物や通院等の市民の足になっていくことから、利用者が伸びるような形でルートと時刻なども含め検討しながら試験運行していきたいと考えている。

### 農林水産業費

〔質疑〕鳥獣被害対策事業において、タヌキとハクビシンの捕獲については、許可は出ているが補助は出ない。

インシヤサルは補助が出ることから、同様の運用を考えたほうがいいか。

〔答弁〕現在、本市では鳥獣被害防止計画を立てており、被害の対象となるハクビシンなども捕獲の対象動物としている。

鳥獣被害防止の総合対策を用い、白石川のV字溪谷に沿った

### 商工費

〔質疑〕みやぎ路観光地整備工事については、中学生議会で提案された内容により、インスタ映えするようなスポットにしたい旨の説明があったが、その概要を伺う。

〔答弁〕さきの中学生議会において、観光スポットなどをインスタ映えするように整備してはどうかという提案をいただいた。

そこで、白石市インスタ映えコースの足がかりとするため、小原温泉遊歩道の一部について市町村振興総合補助金を活用して整備しようとするものである。

整備の内容は、つり橋とともに遊歩道の安全な部分を利

溪流に映える新緑や紅葉の美しい景色を眺めながら楽しんでいただくため、スポットの案内看板や安全対策の看板を設置し、併せてかつらの湯においていただく方に対しても楽しんでいただくことを考えている。

### 土木費

〔質疑〕中河原白石沖線街路事業について、進捗状況や今後のスケジュールを伺う。

〔答弁〕令和元年度については、不動産鑑定と建物調査、用地買収交渉を行なっている。

令和2年度については、引き続き用地買収と物件補償の他、端部側溝工事、道路の両端の工事を行う予定である。

令和2年度及び3年度に買収、補償、工事等を行い、令和4年度及び5年度に本工事を実施し、令和5年度中には完成させたいと考えている。

### 消防費

〔質疑〕防災費の消耗品費16万9千円について、この内容を伺う。

〔答弁〕避難者用の備蓄用消耗品が主であるが、水が2千688本、アルファ米が1千500食、また、今回初めて液体ミルクを48本購入する予定としている。

### 教育費

〔質疑〕中学生中国派遣業務委託料の詳細を伺う。

〔答弁〕本市ではこれまでオーストラリアに中学生を派遣しているが、これに加えて中国の上海市に中学生を派遣するという内容になっている。

基本的には中学校2年生を対象に公募するが、意欲のある生徒を募集し、面接等を行なって決定していきたいと考えている。

〔質疑〕学力向上プロジェクト事業の一環として製作する暗唱読本の詳細を伺う。

〔答弁〕暗唱読本は、子供たちの表現力や集中力、記憶力を育て

### 令和2年度 一般会計予算

(単位：千円・%)

歳 出		予 算 額	構 成 比
款 別			
1. 議 会 費		176,888	1.25
2. 総 務 費		2,271,819	16.11
3. 民 生 費		5,151,363	36.52
4. 衛 生 費		1,343,748	9.53
5. 労 働 費		1,636	0.01
6. 農 林 水 産 業 費		386,624	2.74
7. 商 工 費		551,495	3.91
8. 土 木 費		1,228,148	8.71
9. 消 防 費		497,698	3.53
10. 教 育 費		1,304,258	9.25
11. 災 害 復 旧 費		2,987	0.02
12. 公 債 費		1,173,441	8.32
13. 予 備 費		15,006	0.10
合 計		14,105,111	

### 令和2年度 各会計予算

(単位：千円・%)

会 計 別	令和2年度 予 算 額	令和元年度 予 算 額	令和元年度 当初予算比	
一 般 会 計	14,105,111	14,135,332	△ 0.2	
特 別 会 計	7,907,129	8,054,957	△ 1.8	
会 計 内 訳	国民健康保険	3,793,756	3,952,320	△ 4.0
	介護保険	3,704,716	3,692,273	0.3
	後期高齢者医療	408,657	410,364	△ 0.4
合 計	22,012,240	22,190,289	△ 0.8	

企業会計			
水道事業会計	1,278,767	1,370,720	△ 6.7
下水道事業会計	1,799,783	1,992,646	△ 9.7

※企業会計については収益的支出+資本的支出額

成することを狙いとして、古典や文部省唱歌、わらべ唄、民謡、英語など収めた冊子として製作するもので、その中には白石市ゆかりの俳人等の作品なども入れていきたいと考えている。

この読本は、小学校と中学校の9年間連続して使うものと、幼稚園、保育園の3年間使用するものとを分けて製作する予定としている。

### ◎令和2年度白石市国民健康保険特別会計予算

〔質疑〕平成30年度より国保事業は県単位化されたが、国民健康保険事業財政調整基金について、その運用で以前と異なる点はあるのか伺う。

〔答弁〕基金の取り崩しについては、白石市国民健康保険事業財政調整基金条例第4条に掲げられている場合に限り処

分できるとなっていることから、県単位化に伴い条例を改正している。

具体的には、条例の第4条第4号として国民健康保険事業納付金に対し財源が不足する場合に当該不足額を埋めるための財源に充てるときという規定を追加しているところである。

◎令和2年度白石市介護保険特別会計予算

〔質疑〕一般介護予防事業費の運転技能向上トレーニング機器について、どのくらい使用しているのか。

また、その使用によってどのように運転の向上がなされているのか伺う。

〔答弁〕運転技能向上トレーニング機器については、オンラインカフェ（認知症カフェ）が、毎週火曜日に行われており、ご本人とご家族を対象に使用いただいている。

保健師や地域支援推進員の指導の下、楽しみながらトレーニングしていただいております。だいが運転技能が上達された方もいる。

今後は、個人宅でトレーニングを積んでいけるように貸し出し等もしていきたいながら、上達の度合いや数値化について検討していきます。

◎令和2年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕アセットマネジメント策定業務について、現在の取り組み状況と令和2年度の

取り組み予定を伺う。

〔答弁〕アセットマネジメント

策定については、計画的な更新投資及び重要度や優先度を踏まえた更新投資の平準化、また、ライフサイクルコストの減少などを効果として見込んでいる。

今年度においては、水道施設の現状調査や現在の財政状況などの基礎調査を行っており、令和2年度においては、今後の有収水量の予測や起債償還等の財政収支を照らし合わせ、施設更新の平準化や今後の料金のあり方について検討していきたいと考えている。

### 討 論

予算審査特別委員会（2月27日）及び定例会最終日（3月6日）において、第23号議案に対する討論が行われました。

定例会最終日に行われた討論の主な内容は、次のとおりです。

◎第23号議案 令和2年度白石市一般会計予算

反対 平間 知一

令和2年度一般会計当初予算案について、3つの点を指摘したい。

1つ目は、新たな教育関連事業についてである。

白石学びの環境づくり事業においては、教員の負担増に加え、テストにばかり予算をかけるやり方は問題であり、また、保育園や幼稚園、小中学校へ暗唱読本を配付し、一律の教育内容を現場に押しつけることは賛成できない。

外国語・国際理解教育推進事業においては、既にオーストラリアへ生徒を派遣しており、新たに中国へ海外派遣することが必要と言えるのか。

2つ目は、現在進行中の中河原白石沖線街路事業についてである。

本市が厳しい財政状況に置かれている中で、多額の予算が伴うこの事業を継続することは、他の優先すべき事業予算を縮小することになる。今は本事業の一時凍結を

含め、再度検討が必要と考える。最後に、白石市外二町組合

の繰出金についてである。

刈田綜合病院が財政難に陥った要因は、本市からの繰出金が減額となったことが大きな原因と考える。病院は多額の債務を抱えざるを得なくなっており、銀行からの融資も難しくなっている。

本市の厳しい財政は理解するが、市民の健康と命を守るために、地域医療の要としての刈田綜合病院の経営が成り立つことが最優先であると考ええる。

以上の理由から第23号議案に反対である。

賛成 佐藤 秀行

令和2年度一般会計当初予算案については、大変厳しい財政状況を踏まえ、その事業が本場に必要ない事業なのか、目的や成果も含めてさまざまな角度から検討された編成であると考ええる。

学校教育の充実については、継続事業も含め、新たな事業にも取り組もうとしており、

確かな学力の育成を図るため、さまざまな施策を展開している。

子育て支援については、本市が全国版の子育て情報に紹介されるなど、子育てしやすいまちとして注目を集めていることから、改めてこれらに関する取り組みを評価する。

また、災害への備えとして、液体ミルクを初めとする備蓄品の充実など、災害に強い安心・安全なまちづくりを目指そうとする思いが強く感じられる。

市民の暮らしを守るためには、環境の整備、教育の充実、福祉の向上などに対し自分の予算配分をしなければならぬが、令和2年度予算案については的を射た配分である。

厳しい財政状況の中であっても市政課題を先送りすることなく、特色ある施策を推進するとともに、白石市が選ばれるまちとなるよう予算が編成されている。

以上の理由から第23号議案に賛成である。

第439回 市議会定例会予算審査特別委員会（2月27日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			大森 貴之	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	大野 栄光	沼倉 啓介	高橋 鈍斎	小川 正人	平間 知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四竈 英夫	高子 秀明	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第23号議案 令和2年度白石市一般会計予算	原案可決		○	×	×	○	○	×	×	○	×	×	欠	委	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した委員、「×」⇒反対した委員、「欠」⇒欠席した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない  
 ※ 予算審査特別委員会は議長を除く全議員で構成される

第439回 市議会定例会（3月6日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			大森 貴之	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	大野 栄光	沼倉 啓介	高橋 鈍斎	小川 正人	平間 知一	保科善一郎	佐久間儀郎	四竈 英夫	高子 秀明	森 建人	角張 一郎	菊地 忠久	佐藤 秀行	松野 久郎
第23号議案 令和2年度白石市一般会計予算	原案可決		○	×	×	○	○	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

# 市政に対する一般質問

〓〓〓 15名の議員が質問〓〓〓

2月定例会の一般質問は、3月4日・5日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

**松野 久郎** 令和2年度施政方針について

**伊藤 勝美** 施政方針について

**佐久間儀郎** 緊急浚渫推進事業について

**澁谷 政義** 災害に強い地域づくりと住民の安全について

**四竈 英夫** 台風19号の復旧状況について

**菊地 忠久** 工業団地造成について

**保科善一郎** 議会に対する重要な提案について

**高橋 鈍斎** 第一幼稚園休園に関する「凍結」問題について

**高子 秀明** ICT教育の環境整備状況と成果及びGIGAスクール構想への本市の対応について

**沼倉 啓介** 教育施設のユニバーサルデザイン及びバリアフリーと合理的配慮について

**大森 貴之** 河川・側溝等の対応について

**佐藤 秀行** 益岡公園野球場について

**大野 栄光** 幼稚園について

**森 建人** 新型コロナウイルス感染症について

**佐藤 龍彦** スパッシュランドの休館について

他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他 他

### 令和2年度施政方針について

松野 久郎



〔質問〕こじゅうろうきツズランドの維持費を考慮した基金の創設が必要ではないか。

〔答弁〕〔市長〕費用負担の標準化や財政確保の迅速性などのメリットを考慮し検討する。

〔質問〕地域経済の発展や活力ある地域社会形成の取り組みと効果について所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕企業誘致による雇用創出、インバウンドを含む観光振興、農商工連携を核とした賑わい交流拠点の整備、まちづくり交付金制度を活用した地域づくりの推進に取り組みむなど、交流拠点都市づくりを進展したものと考えている。

〔質問〕少子化の中、小原小中学校を小中一貫校として、どのようにしていく計画なのか。

〔答弁〕〔教育長〕令和2年度から小学校併設型中学校の制度により通称小原学園とし、少数によるきめ細やかな個別指導や地域と一体となった教育活動を実施していく。

〔質問〕働き世代から始める健康づくり推進事業の概要を伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕市内企業に就労する20歳から60歳の働き世代をターゲットに、正しい生活習慣を身につけることができる健康教育や運動教室などを実施するもので、仙台大学に委託し実施する予定となっている。

〔質問〕新規事業である中国上海市への中学生派遣の概要を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕昨年1月に白石中学校が上海市の華東師範大学第二附属中学と友好協定校の協定を結び交流していることから、さらに関係を深めるため、中学生派遣を行うものである。

〔質問〕空き家バンク事業に関する協定による効果を伺う。

〔答弁〕〔市長〕売買を希望する場合、仲介に入っていたことで、所有者と利用者双方の安心安全を確保できると考えている。

〔質問〕統廃合後の市民バスを利用する中学生について、バス時刻等に支障もあると聞いているが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕保護者や各中学校の意見を聞く機会を定期的に設け、意見や要望などの把握に努めていく。

〔その他の質問〕

◎新型コロナウイルス対策について

〔質問〕

### 施政方針について

伊藤 勝美



〔質問〕市民主導による持続可能な地域づくりを推進し、目標の実現に向けて「勇往邁進」とのことだが、市民にとってどのように解釈すればいいのか。

〔答弁〕〔市長〕人口減少や少子高齢化などの課題に恐れず、市民と一緒になり越え、積極果敢にチャレンジしていきたいとの思いから、施政方針のテーマとした。

〔質問〕昨年10月の台風19号は本市に大きな被害をもたらしたが、被害を受けた道路・河川・橋梁・側溝・農地・用水路・ため池などの災害復旧の見通しについて伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕現在、詳細な測量設計を行い、令和2年度の工事発注に向けて手続きを進めているが、復旧が難しい箇所も出てくると思われる。現場の状況と施工時期を見極めながら、早期の復旧を目指していきたい。

〔質問〕本年1月の「公立刈田総合病院からのお知らせ」は「整形外科常勤医師2名が退職することから、4月以降は未定となり整形外科救急診療は対応できない」との内容だった。実際に整形外科診療が中止された場合、高齢者が増加している本市において、けがや事故などを考えると、その不安は大きくなるばかりである。また、他の

病院に行くための足が高齢者にはない。

この件で市内には動揺が広がっており、正に市民の安全安心に直結する憂慮すべき事態と考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕東北大学や宮城県の関係機関などに要望を行い、全力で医師の確保に努め、市民の安全安心につなげていきたいと考えている。

〔質問〕市内外からの噂として「市長は刈田総合病院を民間に譲渡する、または民間に譲渡しようとしている」という話が聞こえてくる。

刈田総合病院を支える白石市長として、このような噂を払拭するためにも、現時点での考えを伺う。

〔答弁〕〔市長〕刈田総合病院を民間に譲渡したり、売却したり、委託したりといった考えは一切持ち合わせていない。



### 緊急浚渫推進事業について

佐久間 儀郎



〔質問〕台風19号の豪雨により広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水被害が発生した。

河川の水位の異常上昇は、雨量が多かっただけでなく、実施すべき河床の浚渫がきちんと行われず、河床が上流からの土砂の堆積によって上昇していることによる影響も少なからずあるように思われる。

1級河川の指定区間、2級河川、河川法準用河川並びに普通河川の浚渫事業は、地方公共団体が単独事業として実施するしかなく、財政的な事情から進んでいないのが実態である。

そこで総務省は、通常国会に河川やダムにたまった土砂やヘドロを取り除き、氾濫しにくくする作業を支援するための「緊急浚渫推進事業費」創設を提出している。

地方財政措置として、土砂の浚渫を地方債の起債対象にし、充当率100%、元利償還金に対する地方交付税措置率は70%で、令和6年度まで5カ年間の事業総額を4千900億円と見込んでいる。

大変有利な制度創設と考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕普通河川の土砂浚渫は、これまで市単独事業で実施しており、財政面においても厳しい状況であった。今回の地方財政措置

は大変有利な制度である」と認識している。

今後、事業の要項などが具体的に示されると思うが、防災減災対策のさらなる推進に向け、国や県の情報収集に努め、制度活用について前向きに検討して頂く。

〔質問〕制度を生かす手順は、各自治体が個別計画として緊急的に実施する浚渫箇所を位置づけるとしている。

本市では個別計画作成に取り組み考えがあるのか伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕市町村においては、個別計画にかえて堆積土砂管理計画（仮称）の策定でも可能となっていることから、要項などにより今後作成を検討していきたいと考えている。

〔その他の質問〕

◎令和2年度施政方針について

### 災害に強い地域づくりと住民の安全について

蒔谷 政義



〔質問〕台風19号により本市も甚大な被害を受けた中で、大鷹沢地区のため池決壊の検証について伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕短時間の豪雨により急激な貯水位の上昇及び土砂などが一気に流れ込み、決壊させたものと思われる。

〔質問〕復旧計画及び日程を伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕復旧規模が甚大で高度な技術を要するため、県営災害復旧事業として実施し、令和2年度から順次着手する。

完了までは3年程度必要と思われる。

〔質問〕工法と対策を伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕原形復旧にとまらず、ため池災害関連特別対策事業として、復旧作業と併せて実施する予定である。

〔質問〕住民の安心安全の確保について伺う。

〔答弁〕〔市長〕地元自治会や水利組合、土地改良区と連携し、ハザードマップを活用した啓発に努める。

〔質問〕鷹巣・旭町地区の内水氾濫について、検証結果に基づいた今後の対策を伺う。

〔答弁〕〔市長〕国では内水氾濫対策を強化する方針であるため、施設の整備によりハードソフト両面から総合的に検討したい。

〔質問〕国の支援を受けて揚水場の整備が必要と思われるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕国の指導を受け、災害に強いまちづくりを進める。

〔質問〕災害時の安否確認のため「無事です」のフラッグが全戸配布されているが、水害などは内容が異なるのではないか。

〔答弁〕〔危機管理課長〕使用方法は地域内で検討したとき、有効活用をお願いしたい。

〔質問〕分かりやすく「避難しました」フラッグも必要ではないか。

〔答弁〕〔市長〕避難が確認できるツールも非常に重要であるため、検討していきたい。

◎自治会組織の統合について

〔質問〕本市には、113の自治会組織がある。統合などの推進を促すのも行政の役割と思うが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕任意組織であることから、行政側からの提案は非常に難しい課題である。

### 台風19号被害の復旧状況について

四 竈 英 夫



〔質問〕未曾有の被害をもたらした台風19号の襲来から4カ月あまりが経過したが、その後の災害復旧について、災害の件数と復旧状況を伺う。

〔答弁〕〔建設課長〕国の災害復旧事業として査定を受けているのは、公共土木施設で道路23カ所、河川8カ所の計31カ所である。

農業用施設としては、ため池2カ所、水路23カ所、道路5カ所の計30カ所である。

今後、詳細な測量設計を行い、令和2年度の工事発注に向けて手続きを進めていく。

そのほかの道路の土砂除去、水路の浚渫、路

肩復旧作業などは、重機借り上げや原材料供給などで作業を行なっているが、これら小災害

については、2月18日現在で852カ所となり、平成27年9月関東・東北豪雨

時の約3倍となっている。現在も地元業者に依頼して復旧作業を進めており、約330カ所が終了したが、被害件数が多く、復旧には令和2年度までかかる見通しである。

◎新型コロナウイルスへの対応について

〔質問〕新型コロナウイルスの感染が大きな問題となっているが、対策を伺う。

〔答弁〕〔市長〕国の新型コロナウイルス感染症対策本部設置を受けて、2月3日に市長を本部長とする対策本部を設置した。

県の保健所や白石市医師会とも連携をとり対応していく。

〔質問〕児童生徒の感染が大変危惧されるが、対応を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕2月28日に臨時校長会議を開催し、3月2日から春休みまでの臨時休業を決定した。

休業中は人の集まる場所への外出を避け、うがいや手洗いをを行うとともに、感染が確認された場合は、ただちに学校へ連絡するよう要請している。

〔質問〕長期休業による学業の遅れについての対応を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕小学6年生については進学する学校で履修し、それ以外の学年は、新学期になってからその内容も踏まえて履修することとしている。

なお、卒業式は従来の形式では行わないこととした。

### 工業団地造成について

菊 地 忠 久



〔質問〕(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺に工業団地を整備する方針が示されているが、現時点でどのようなブランドデザインを描いているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕周辺開発は新たな工業団地のみならず、スマートインターチェンジ整備による交通便利性を最大限発揮できる新たな拠点施設の整備など、いろいろな未来地図を描いている。

「住みたいまち、住みたいまち、市民の笑顔あふれる白石」の実現のために欠かせない施設であると同時に、地域

ニーズに十分に配慮されるものでなくてはならないと考えている。

〔質問〕具体的にどのような施設を構想としているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕交流人口、関係人口の増大を考えた場合、本市のさまざまな情報を発信できる施設の他、健康寿命の延伸が非常に重要であることから、市民の健康が増進されるような施設も有効ではないかと考えている。

〔質問〕工業団地の整備とともに、そこで働く人たちの新たな宅地も整備することが、移住・定住と地域の活性化には重要であると考えているが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕従業員の宅地確保は、誘致交渉において大変重要であ

ると認識しているが、現時点では工業団地の具体的計画が決定していない。

スマートインターチェンジ周辺整備計画の中で、新たな工業団地整備を念頭に宅地確保の可能性を検討していきたい。

〔質問〕スマートインターチェンジ、工業団地、宅地整備は3点セットであると考えているが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕3点セットで進めるとなれば、莫大な事業費となってくる。宅地整備は臨むべき政策と考えるが、民間の動きも注視しながら、造成を民間の力でできないか、積極的に企業誘致と併せて働きかけていきたい。

◎その他の質問  
◎第六次総合計画について

◎浸水対策について  
◎ゼロカーボンシティ宣言について

### 議会に対する重要な提案について

保科善一郎



〔質問〕白石市議会基本条例において、議会は、市長が提案する重要な計画や政策、事業等について、議会審議における論点情報を整理し、その政策等の水準を高めるため、市長に対し説明を行うよう求めるものとしている。

議員にとって丁寧な説明とは、数年にわたる実績結果や経過説明など、多数の議案審議の前に行政当局が提案説明を行うことであり、議員からの資料請求があれば積極的に資料を提供したほうが効率的で的確な採決が期待されると考える。

研究をしていると思うが、結果の良いデータ、悪いデータもすべて共有し、検討しなければ間違った判断になる可能性が大きくなると考える。

限られた財源の中で、効率の良い政策を実施する責任は、行政当局にも議会にもあるはずである。行政は持っている資料やデータを議会に提供しなければならぬと考える。

そこで現在、懸案事項となっているスパッシュランド休館問題について、休館を必要とする背景を伺う。

〔答弁〕〔市長〕入館者が減少し、維持修繕に多額の費用を要することから、休館の方針を示したものである。

〔質問〕総合計画との関連性、施政方針との整合性について伺う。

〔答弁〕〔市長〕スパッシュランドは「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」に貢献してきたと認識している。

しかし、建設から27年が経過し、利用状況や社会状況、財政状況も当時とは大きく変わっていることから、現在の状況を鑑み、総合的に判断する必要があると考えている。

〔質問〕関係する法令及び条例との関連について伺う。

〔答弁〕〔企画情報課長〕本施設は、市民の生涯スポーツや健康増進に貢献していることは十分認識しているが、これは法令に従い行なっているものではない。

また、建設に活用した地域総合整備事業債については、既に償還を完了している。

### その他の質問

◎しろいしサンパーク  
について

### 第一幼稚園休園に関する「凍結」問題について

高橋 鈍 斎



〔質問〕市立幼稚園アンケートには「休園反対」の署名の結果は市民の声であり、市議会でも多数で可決されたが、いまだ凍結のままというのはなぜなのか。速やかに休園の撤回と園児募集の再開を求める」との意見があるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕議会の請願採決について、多数で可決されたことを受け止め、凍結という結論に至った。

凍結という意味は、第一幼稚園休園の計画を現時点で中断し、総合教育会議や教育委員会での検討を踏まえた上で適切に判断していくことである。

〔答弁〕〔教育長〕アンケートを拝見し、今回の休園の進め方について「もう少し時間が欲しかった」という意見も寄せられたことから、今後とも丁寧な説明を行いながら進めていきたい。

また、いただいた意見を今後の幼児教育の充実に生かしていきたいと考えている。

〔質問〕休園凍結の措置、これは休園そのものを凍結するとも受け取れる。これまで2回、総合教育会議が行われ、学識経験者や保護者の意見は十分に聞いたと思う。

今後は新たに第三者委員会を立ち上げ、慎重に議論していく考えはないのか。

〔答弁〕〔市長〕3月に3回目の会議を予定しているため、会議の進捗状況を見て総合的に判断していきたい。

〔答弁〕〔教育長〕総合教育会議には学識経験者や弁護士を招いていることから、改めて第三者委員会を設置する考えはない。

◎スパッシュランドの存続について

〔質問〕スパッシュランドの存続について、9千名以上の署名数をどのようを受けとめているか。

〔答弁〕〔市長〕本施設が果たしてきた役割が非常に大きいことを改めて認識している。現在も継続の可能性を探っているところである。

〔質問〕可能性とはどのようなことか。

〔答弁〕〔市長〕国の関係機関には既に要望を行っており、日本水泳連盟からの支援や民間譲渡、指定管理などさまざまな働きかけをしている状況である。

### ICT教育の環境整備状況と成果 及びGIGAスクール構想への本市 の対応について

高子 秀明



〔質問〕教育のICT化に向けた環境整備5カ年計画において、ICT整備方針には目標水準が示されている。

この水準と照らし合わせた本市の進捗状況を伺う。

〔答弁〕「教育長」学習者用コンピュータは現在311台、指導者用コンピュータは150台設置しており、超高速インターネット及び無線LAN、統合型校務支援システムは100%整備している。

〔質問〕文部科学省の政策であるGIGAスクール構想について、所見を伺う。

〔答弁〕「市長」未来社会のコンセプトであるSociety 5.0時代に生き

る子どもたちにとって、パソコン端末は鉛筆やノートと並ぶ必需品となっている。

社会のグローバル化に対応できる人材育成という観点からも、ICTを活用したプレゼン能力向上は学校教育において必須事項となっており、国のGIGAスクール構想は学校に必要なものと考えている。

◎市立幼稚園アンケート  
ト意見から見える本市の課題

〔質問〕市立幼稚園アンケートの意見の中で「療が充実していない」ところで子どもを産もうとは思わない。産んだとしても子どもを預ける先がない」との切実な状況が記入されていた。

市長の人脈で産婦人科医を本市に招いて開

業していただくか、または刈田綜合病院に勤務いただくよう働きかけることを検討いただきたい。

第五次白石市総合計画には「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」とある。

しかし、肝心なところが本市には抜けていると思うが、いかがか。

〔答弁〕「市長」産婦人科医の不足は、現在、東北大学の医療政策としてセミオーブンシステムで対応している。

一番大事なのは、母子の命を守り、安心安全な出産ができる環境を整備することであり、かかりつけ医と基幹病院との連携が大変重要となっている。

産科医師の招聘には、現在も全力を尽くしているが、産科に限らず今後とも全力で地域医療提供体制の充実強化に取り組んでいく。

### 教育施設のユニバーサルデザイン 及びバリアフリーと合理的配慮に ついて

沼倉 啓介



〔質問〕できるだけ多くの人が利用可能であるデザインとするユニバーサルデザインは、デザイン対象を障害者に限定していない点、バリアフリーとは異なるとされているが、日本国内においては混同され、必ずしも正しく理解されていない。

学校など教育施設のバリアフリー化に関しては、文部科学省大臣官房文教施設部の指針の中で基本的な考え方が示され、合理的配慮については、何らかの助けを求める意思表示があった場合、過度の負担になり過ぎない範囲で社会的障壁を取り除くために必要な便宜を施すとされている。

から危ないといった観点から物事を見るとすれば、この問題は解決しない。  
逆に障害を持った子どもに対し、先生や障害を持っていない子どもたちが補助することは情操教育にもつながるのではないか。  
〔答弁〕「教育長」情操教育の面については、否定はしない。  
しかし、情緒の部分をついては、行政の設置者として合理的配慮を強く考えねばならないと認識している。

この説明に関し、実例などがあれば伺う。  
〔答弁〕「教育長」教員や支援員が配慮することにより、転落事故などに至ったケースは今までない。

しかし、防災の観点からも地震や火事など有事の際は、2階建てより平屋の園舎のほうがより安全に、より早く避難できる利点があると考えている。

〔質問〕ホールが2階にあり、飛び降りをする

子どもたちのために最善の思考をしていただきたいかがか。  
〔答弁〕「教育長」今後とも必要な教育環境を整備し、可能な限りともに学ぶ仕組みづくりなど生きる力の育成に努めていく。

### 河川・側溝等の対応について

大森 貴之



**〔質問〕**緊急浚渫推進事業に該当する市管理の河川について、この制度に基づき浚渫工事を行う予定があるのか伺う。

**〔答弁〕**【建設課長】事業の要項が示された後に個別計画を策定し、検討していきたい。

**〔質問〕**この制度の中には、樹木等の伐採作業も含まれていると思うが、計画に盛り込む予定はあるのか伺う。

**〔答弁〕**【市長】事業の内容を精査し、実施に向けて前向きに検討して行く。

◎サポカー補助金について

**〔質問〕**国の予算に高齢

者サポカー補助金が盛り込まれた。

この補助事業に上乗せを実施し、より安全な交通社会を構築していくべきと考えるが、見解を伺う。

**〔答弁〕**【市長】本市では高齢者を対象にサポーターブレーキ体験などの研修会を予定している。この研修会を通じて

先進安全技術などを実感いただき、国のサポカー補助金を活用しながら高齢者の安全運転と事故防止に努めていく

考えであることから、上乗せは考えていない。

◎健康寿命延伸について

**〔質問〕**健康寿命の延伸事業は、全世代を通じて一貫して実施していくとの観点から、国や県

し、共同で事業を行なっていくようにしている。本市は今後どのように対応していくのか伺う。

**〔答弁〕**【健康推進課長】分担している業務について、どのような取り組みができるか検討中であるが、所属にとらわれず、連携協力体制で健康寿命の延伸を図って

いきたいと考えている。

◎漏水対応について

**〔質問〕**漏水監視システムの導入を検討いただきたいと思うが、見解を伺う。

**〔答弁〕**【上下水道事業所長】漏水量の低減は、本市水道事業の重要課題であることから、多くの課題はあるが監視システムについても検討が必要と考えている。

◎小中学校のプール使用について

**〔質問〕**防災士資格取得補助

### 益岡公園野球場について

佐藤 秀行



**〔質問〕**工期も5年目を迎えた益岡公園野球場について、現在の進捗状況も含め、令和2年度の取り組みと見通しを伺う。

**〔答弁〕**【都市整備課長】平成30年度発注の工事が終了した時点で、全体事業費の38.8%が終了しており、令和元年度の現時点での予定額6千万円の工事が終了した

後には、事業費ベースで55.5%の工事が終了することとなっている。

令和2年度は、計画を精査したうえで、完成を目指す予定である。

◎オリンピック推進事業について

**〔質問〕**市長は、昨年ペラ

ルーシ共和国の首都ミンスク市その他、ネスヴィジ市などを訪問しているが、ネスヴィジ市との交流について、その後の

状況を伺う。

**〔答弁〕**【市長】今後の交流については、文化芸術や観光、スポーツ、青少年交流など幅広い分野での交流を視野に、ネスヴィジ市も含めた交流先についてペラルーシ大使館と調整しながら、引き続き検討していきたいと考えている。

◎教育関連事業について

**〔質問〕**ALTの公立幼稚園への派遣回数を増やすことは、基本はチームティーチングだとすれば、授業を進めるうえで、当然ALTとの打ち合わせが必要となる。

その場合、先生方の負担が大きくなるのではないかと心配するが、その点はどのように考えているか。

**〔答弁〕**【教育長】充実した教育活動にするためには、ALTとの打合せは大切である。先生方が効率的に打合せができるよう、ALTの配置について配慮していきたい。

**〔質問〕**本市の課題でもある国語の読解力低下や数学の基礎基本の定着を図るため、また学習意欲の向上、保護者の負担軽減のために、漢字検定・数学検定についても補助を考えるとかがか。

**〔答弁〕**【市長】まず、英語検定の補助を実施していきながら、さらなる子どもたちの学力向上、学ぶ意欲の向上のために、その他の検定が有効であると判断できれば、ぜひ検討していきたい。

### 幼稚園について

大野 栄光



**〔質問〕**教育委員会の令和元年9月定例会会議録において、教育長より第一幼稚園休園の文言が出ているが、いつの時点で休園の審議決定がなされたのか。

**〔答弁〕**【教育長】幼稚園の休園については、教育委員会の議決案件ではなかったことから、教育委員会令和元年9月定例会の一般事務報告の中で説明している。

件ではないことから、一般事務報告の中で説明しているが、教育委員会令和元年9月定例会の他に、平成31年4月、令和元年5月及び8月の定例会においても一般事務報告の中で説明し、総合的に検討を行なってきた。

**〔質問〕**第二幼稚園は災害に弱い地域内にあるが、約100名の園児が過ごす場所として、安全を担保できるのか。

**〔答弁〕**【教育長】東日本大震災の際、第一幼稚園では教室や遊戯室の床の沈下が発生したが、災害復旧工事として修繕しており、施設の安全性に問題はないと考えている。

また、台風19号の際は園庭が冠水したものの、建物への浸水はしていないことから、園児が過ごす場所として安全は確保されていると考えている。

**◎スパシユランドについて**

**〔質問〕**昨年12月、中央公民館において市政懇談会があり、スパシユランドを休館する方針が示された。

市民からは施設存続を望む意見や要望もあるが、所見を伺う。

**〔答弁〕**【市長】本市の財政状況や施設利用者の減少を考えた上での判断であるが、現在も休止ありきで考えているのではなく、継続できないか模索、検討中である。

**〔質問〕**スパシユランドが休館となれば、小原地区は地域衰退へつながると思われるが、地域活性化の点から所見を伺う。

**〔答弁〕**【市長】重要な観光資源を活用しながら、継続して小原地区の振興に力を尽くしていく。

### 新型コロナウイルス感染症について

森 建人



**〔質問〕**新型コロナウイルス感染症は、昨年12月に中国湖北省武漢市において確認されて以降、世界各地で患者発生報告が続いている。

新型コロナウイルス感染症対策本部の設置から現在までの動きを伺う。

**〔答弁〕**【市長】2月3日に白石市新型コロナウイルス感染症等に関する対策本部を設置した。

2月6日の第1回会議では、これまでの対応経過の確認、市関連施設などの情報共有、妊婦への備蓄マスクの配付、市民への情報発信や感染予防の呼びかけを継続することを決定した。

続いて2月28日に第2回会議を開催し、市が主催する行事の実施について検討した他、在宅酸素療法を受けている方や人工透析を受けている方にマスクの配付を決定した。

また、市内全小中学校を3月2日から24日まで臨時休業させ、卒業式は従前の式典は行わず、各学校の判断や手法で卒業証書授与を実施することとした他、各小中学校での預かり実施や部活動の一切停止、春に予定している中学校の修学旅行の延期を決定した。

さらに、3月2日に臨時会議を開催し、中央公民館などの施設を3月3日から15日まで原則休館とし、3月15日までの行事も中止や延期を決定したところである。

**〔質問〕**本市の観光や経済への影響を伺う。

**〔答弁〕**【市長】市内12軒の宿泊施設に対し、新型コロナウイルスによるキャンセル状況を調査したところ、3月3日現在で10軒から回答があり、約900件、金額にして約3千万円のキャンセルがあり、既に経済活動に大きな影響が出てきている。

**〔質問〕**ほかにもさまざまな業種で影響が出ていると思うが、本市としての対策を伺う。

**〔答弁〕**【市長】今回の経済関係の問題は、国において対処すべきものと考えている。

直接的な減収や経営困難といった事例に対応する施策を、国や県に働きかけていきたい。

**◎マイナポイント事業について**

### スパッシュランドの休館について

佐藤 龍彦



**〔質問〕**公共施設等総合管理計画の中で「市民・地域との協働」と明記されているが、今回のスパッシュランド休館の決定は、その方針と矛盾した対応をとっているのではないか。

**〔答弁〕**〔市長〕昨年8月7日に議員へ、10月30日には利用者への現状説明、また12月1日には市政懇談会を開催し、市民と意見交換を行なっていることから、矛盾した対応はないと認識している。

**〔質問〕**修繕費用の見積もりでは「電気」「衛生」「空調」の各分野に同額の数字が多く存在しているが、見解を伺う。

**〔答弁〕**〔財政課長〕見積もりの費用については、現地調査や図面、契約金額から、初めに再調達価格（現在同じものを建てた場合はどのぐらいの価格になるのか）を算出し、その後、各工事の項目ごとに割合を定め算出する方法をとっている。

具体的には、スパッシュランドのプール棟、レストラン棟、研修棟ごとに再調達価格を算出し、その後、各棟ごとに建築工事、電気工事、衛生工事、空調工事にかかる費用が修繕更新費用としてどの程度かかるかを算出している。

次に、例えば電気工事であれば、内訳として照明コンセントが何割、防災機器が何割と割合を設定し算出している

ことから、同じ割合になった項目では同じ金額となっている。

**〔質問〕**休館した場合、福岡中学校の水泳授業、高齢者のデイサービスや幼稚園の園児たちの水遊びなど、今後どのように対応していく考えなのか。

**〔答弁〕**〔市長〕現在、福岡中学校と小原中学校の授業でスパッシュランドを利用しており、幼稚園でも年に数回利用している。

仮に休館となった場合、市内にある民間プールの使用について、協議しながら検討していかなければならないと考えている。

また、いきいきデイサービスについても、代替の施設を検討し、事業を継続していかなければならないと考えている。

#### 〔その他の質問〕

◎台風19号による最終処分場被害について

◎本市の教育について

## 白石市議会一般会議を開催しました!

市議会では、1月29日(水)に市役所を会場として一般会議を開催しました。

一般会議は、市民団体などと情報交換や意見交換を行うことを目的に開催され、今回はスパッシュランド「友の会」の申し出により、休館が検討されているスパッシュランドしろいしについて議論を深めました。

一般会議における報告書は、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



白石市議会一般会議の様子

## 意見交換会の開催中止について

市議会では、3月22日(日)及び28日(土)の2日間、市内公民館8カ所において「第6回市民と議会の意見交換会」を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、拡大防止のため、開催を中止いたしました。

今回は中止となりましたが、この意見交換会は継続して開催してまいりますので、今後とも市民の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

# 人事

2月定例会において、次のとおり選任・推薦することに同意しました。

### 〔固定資産評価審査委員会委員〕

(任期：令和2年3月27日～令和5年3月26日)

- 小 関 市次郎 氏
- 齋 藤 信子 氏
- 日 下 功 男 氏

### 〔人権擁護委員〕

(任期：令和2年7月1日～令和5年6月30日)

- 半 澤 美智子 氏

## 白石市議会会議録を公開しています

白石市議会 会議録

検索

市議会のホームページに会議録を公開しております。  
キーワードでの検索のほか、会議・発言者・期間でも検索できます。  
どうぞご覧ください。

## ◆◆◆ 平成31年（令和元年）議会の活動状況 ◆◆◆

平成31年(令和元年)は、4回の定例会（2月・6月・9月・12月）と1回の臨時会（8月）が開催されました。その概要は次のとおりです。

### ◎議会の開催状況

会議名	招集回数	会期日数
定例会	4回	63日
臨時会	1回	1日

会議名	開催日数	会議名	開催日数
本会議	21日	特別委員会 予算審査	8日
		決算審査	2日
議会運営委員会	28日	スマートインターチェンジ設置推進	4日
常任委員会 総務産業建設	6日	委員会等 議会広報委員会	9日
		議会改革推進会議	1日
		厚生文教	7日
		政策企画調整会議	10日

### ◎提出議案の状況

[単位：件]

市長提案議案							
条例	予算	人事	契約	専決	決算	その他	計
37	30	5	0	12	2	6	92

  

議員提案議案					請願
条例	意見書	決議	その他	計	
0	2	0	0	2	1

### ◎議案等の議決状況

[単位：件]

原案可決	同意	認定	承認	採択	不採択	否決	計
74	5	2	12	1	0	1	95

### ◎議会の傍聴者数

男	女	計
112人	97人	209人

## 6月定例会は、6月8日(月)午前10:00開会予定です。

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されます。市の予算や決算、条例など、市民のみなさんに深く関わりのある議案が審議されます。

また、市議会では、インターネットによる中継を行なっています。議場で行われる本会議（議案審議・一般質問など）や予算審査などをライブ中継や録画映像で視聴できます。

- 全員協議会の傍聴者数 0人
- 2月定例会の傍聴者数 67人
- ライブ中継・録画視聴者数 2,371人

## 編集後記

今回の定例会では、令和2年度の当初予算審議をはじめ、市民の皆さまの生活に関連した重要課題について、これまで以上の緊張感をもって質疑応答が交わされました。

一般質問においては、市民の皆さまのご意見やご要望を基に、各種提言を当局に訴えさせていただいております。

紙面の都合上、全文は掲載できませんが、概要をご覧いただければ幸いです。詳しくは市議会ホームページの会議録をご覧ください。

今回の定例会には多くの方々に傍聴いただき感謝申し上げます。今後も市民の皆さまにより多くの情報を提供してまいります。

議会広報委員会

大森 貴之

### 議会広報委員会 委員

委員長	四 竈	英 夫
副委員長	平 間	知 一
委員	大 森	貴 之
委員	佐 藤	龍 彦
委員	伊 藤	勝 美
委員	高 橋	鈍 斎
委員	高 子	秀 明
委員	森	建 人
委員	角 張	一 郎